

向イベント

車内はキッズスペース

平成エンター
新バス車両導入

東京―大阪間などで高速バス「VIPライナー」を運行する平成エンタープライズ（埼玉県富士見市、田倉貴弥社長）は、外部からの給電が不要で臨時に移動・設置できるキッズスペース「あそびバス」を2台導入した。屋外イベントの会場などへ自走し、貸し出す。

1日、同県春日部市のイオンモール春日部で初披露された。国内初の試みという。バスの車内全体が、子供が自由に遊べるキッズスペースになっている。車体サイズは通常の幅2.4m×高さ3.1m×長さ10.5m。クッションや滑り台、DVD鑑賞用テレビ、絵本棚、おむつ交

換台などを備える。屋根の太陽光発電装置で電気を作り、2台のエアコンを最大12時間稼働させられる。窓ガラスに紫外線カットシールが貼ってある。

同社は「バスから降りて屋外でリフレッシュしたり、短期イベントでの来場者をサポートしたりできる」としている。

バスの女性専用車両を日本で初めて取り入れた実績がある。